

6期 jaih-s 報告書

国際保健トレーニング合宿 2011
「あなたがやりたい国際保健は何ですか？それを実現するためには・・・」



企画趣旨

【テーマ】

全国には国際保健を将来の選択肢として考えている学生が多くいます。本合宿では医療系・非医療系を問わず多くの学生が自分なりの国際保健を見出し、そのためには何が必要であるかを考えるきっかけを得て、その後の勉学・研究・実践とステップを踏んでほしいと願い、サブタイトルを「あなたがやりたい国際保健は何ですか？それを実現するためには…」としました。

本合宿でさらに有意義に学んでいただくため、合宿前・中・後と目標を三段階に設定しました。また、参加者同士、参加者と先生方との交流の時間を大切にしたいと考えております。

【目的】

- I. 国際保健が様々な分野から関わることのできる分野であることを知り、自分自身と国際保健との関わり方を考える。
- II. 国際保健に関わろうとする自分に欠けていること、足りないことを見出し、今後の自分が何をすべきかを知る。

【参加者にとっての目標】

I. 合宿前

- (1) 事前学習を通し国際保健について改めて考え、合宿の参加動機を明確化する。

II. 合宿中

- (1) 国際保健に携わる上で自分に足りないこと・必要なことを考えるきっかけを得る。
- (2) 現場のニーズを汲み取ることの大切さ、主観のみに捉われずしっかりと現場を知ることの大切さを知る。
- (3) チームワークや協調性の大切さを学ぶ
- (4) 自分の中で国際保健に抱いていた疑問や不安にわずかにでも答えを見つける。

III. 合宿後

- (1) 「何かやりたい」から「その何かをするために今〇〇している」と具体的なステップを踏む。

概要

- 【日時】 2011年8月16日～19日 3泊4日
 【場所】 東京大学 医学部セミナー室（東京）
 【参加者】 24名
 【対象】 医療系・非医療系に関係なく、国際保健に興味のある学生
 （専攻問わず・高校生以下除く）

【プログラム】

第1日目 : 8月16日		
9:00 - 10:00	受付	
10:00 - 10:30	オリエンテーション	合宿概説・合宿班自己紹介
10:30 - 12:30	Icebreaking	
12:30 - 13:30	休憩	
13:30 - 14:45	プレテスト+（休憩15分）	
14:45 - 16:15	国際保健総論	90分講義 <u>仲佐保先生</u> （国立国際医療研究センター）
16:15 - 16:30	休憩	
16:30 - 17:45	各論講義1【HIV/AIDSの最前線～栄養から取り組む国際問題～】	60分講義+質疑15分 <u>水元芳先生</u> （福岡女子大学人間環境学部栄養健康科学科）
17:45 - 18:00	休憩	
18:00 - 19:15	各論講義2【国際保健をとりまく国際政治】	60分講義+質疑15分 <u>井上肇先生</u> （千葉県健康福祉部保健医療担当部長）
19:15 - 20:00	移動、チェックイン	
20:00 - 22:00	懇親会	
22:00 - 23:00	風呂	

第2日目 : 8月17日		
7:00 - 9:00	朝食、移動	
9:00 - 10:15	各論講義3【MDGs達成の鍵～世界の母子保健の現状と課題への取り組みに迫る～】	60分講義+質疑15分 <u>牧本小枝先生</u> （JICA人間開発部）
10:15 - 10:30	休憩	

10:30 - 11:45	各論講義4【国際保健活動を支える調査研究の重要性】	60分+質疑15分 <u>樋口倫代先生</u> （名古屋大学大学院医学系研究科）
11:45 - 12:45	昼食	
12:45 - 13:45	計画立案講義	<u>仲佐保先生</u>
13:45 - 14:00	休憩	
14:00 - 15:00	SWOT 講義	<u>仲佐保先生</u>
15:00 - 15:15	休憩	
15:15 - 22:00	SWOT 演習 1. S.W.O.T のリストアップ 2. S.W.O.T の分析 3. SWOT クロス分析 4. 戦略案評価と戦略の選択 5. 戦略実施のための活動作成と実行計画	<u>仲佐保先生</u> <u>明石秀親先生</u> （国立国際医療研究センター） ・時間進行は先生の指示に従う ・夕食はグループごと適宜 ・22時以降は班ごとに部屋 ・入浴は各自のタイミング

第3日目：8月18日		
7:00 - 8:30	朝食、移動	
8:30 - 10:15	SWOT 実習（プレゼン準備）	
10:15 - 12:15	実習発表	<u>仲佐保先生</u> <u>明石秀親先生</u> プレゼン 15(発表8分+質疑応答7分)×4 講評 表彰
12:30 - 13:30	昼食	
13:30 - 15:50	パネルディスカッション	<u>青木美由紀先生</u> （（認定）特定非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会） <u>木村和子先生</u> （金沢大学医薬保健研究域国際保健薬学） <u>長谷川 文先生</u> （東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学教室） <u>平林国彦先生</u> （UNICEF 東京事務局） 自己紹介（10分+準備5分）×4

		ディスカッション 50 分 質疑応答 30 分
15:50 - 16:05	休憩	
16:05 - 19:20	キャリアラウンド	<u>青木美由紀先生</u> （（認定）特定非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会） <u>木村和子先生</u> （金沢大学医薬保健研究域国際保健薬学） <u>長谷川 文先生</u> （東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学教室） <u>平林国彦先生</u> （UNICEF 東京事務局）
		談義（40 分+移動 5 分）×2 休憩 10 分 談義（40 分+移動 5 分）×2
20:30	Farewell party!	

4日目 :		8月19日
7:00 - 9:00	朝食・移動	
9:00 -10:15	各論講義 5【国際緊急援助～日本の貢献と災害援助調整システムの課題～】	60分講義+質疑15分 <u>中田敬司先生</u> （東亜大学医療学部准教授）
10:15 - 10:30	休憩	
10:30 - 12:30	ワークショップ【国際緊急援助】	<u>中田敬司先生</u>
12:30 - 13:30	休憩・昼食	
13:30 - 14:30	ポストテスト	
14:30 - 14:45	休憩	
14:45 - 16:00	クロージング	
16:00 - 17:00	一言タイム	

講師プロフィール（50音順）

各種講義/SWOT 演習/パネルディスカッション・キャリアラウンド

- 青木 美由紀 氏 （（認定）特定非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会）
明石 秀親 氏 （国立国際医療研究センター）
井上 肇 氏 （千葉県健康福祉部保健医療担当部長）

木村 和子 氏 （金沢大学医薬保健研究域国際保健薬学）
仲佐 保 氏 （国立国際医療研究センター）
中田 敬司 氏 （東亜大学医療学部准教授）
長谷川 文 氏 （東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学教室）
樋口 倫代 氏 （名古屋大学大学院医学系研究科）
平林 国彦 氏 （UNICEF 東京事務局）
牧本 小枝 氏 （JICA人間開発部）
水元 芳 氏 （福岡女子大学人間環境学部栄養健康科学科）

企画内容

トレーニング合宿も第6回目となり、毎年3月に行われますが、今年は震災の影響により中止とさせていただいておりました。その後の運営委員内の議論や学生からの要望を受け、この度8月に合宿を開催させていただくこととなりました。

プログラムも講義数を増やし、これまでにないワークショップや SWOT 演習、パネルディスカッションを盛り込みました。

【アイスブレイク】

合宿初日、初めてあった参加者同士が打ち解けられるようにマンダラードを用いてアイスブレイクを行いました。

3×3 マスの表の中に、自分自身に関するキーワードをあてはめ、1分間自己紹介を行う形式です。参加者の皆さんを知っていただくことで、今後の講に向けての導入となるよう企画しました。



【参加者の感想】

- ・自己紹介しやすかった。相手の興味のあることがわかり、仲良くなれるきっかけにもなった。
- ・楽しかったです。これからの手法で真似していきたい。
- ・自己紹介が工夫されていて面白かった。1分間で発表するハラハラ感と、みんなからの質問が楽しかったです。後で壁に貼る事で、参加者の人たちと話すきっかけにもなった。時間を制約することで、進行もスムーズになっていたと思う。

【各種講義】

総論講義 「国際保健総論」

講師：仲佐 保 氏

各論講義 1 「HIV/AIDS の最前線

～栄養から取り組む国際問題～

講師：水元 芳 氏

各論講義 2 「国際保健をとりまく国際政治」

講師：井上 肇 氏

各論講義 3 「MDGs 達成の鍵

～世界の母子保健の現状と課題への取り組みに迫る～」講師：牧本 小枝 氏

各論講義 4 「国際保健活動を支える調査研究の重要性」講師：樋口 倫代 氏

各論講義 5 「国際緊急援助

～日本の貢献と災害援助調整システムの課題～」講師：中田 敬司 氏

「あなたがやりたい国際保健は何ですか？それを実現するためには…」をテーマとした今回は、国際保健にどのように関わっていくことができるか、その道標として、国際政治・母子保健・HIV と栄養・調査研究・緊急人道支援と講義数を増やし、参加者の興味を惹きつける多様なテーマで専門の先生方に講義をしていただきました。

【参加者の感想】

I. 国際保健総論

- ・ グループで問題を考えながら、国際保健について学べることができてよかった。
- ・ 世界の人は 50%しか医療にアクセスできないことを知り衝撃を受けた。



II. HIV/AIDS の最前線～栄養から取り組む国際問題～

- ・ 途上国における HIV/AIDS について栄養の視点から学べ、新鮮でよかった。
- ・ 栄養から HIV/AIDS を考える切り口が素晴らしいと思った。

III. 国際保健を取り巻く、国際政治」

- ・ 今までの Global HealthAgenda は日本の interest ではなかった。国際保健を再度考えさせられる講義だった。
- ・ これから国際保健の舞台で、日本人として何を学べ、どのようにアプローチしていけるか、自分の専門性を考え、磨き上げていきたい。

IV. MDGs 達成の鍵～世界の母子保健の現状と課題への取り組みに迫る～

- ・ JICA を始め、さまざまな機関の具体的な母子保健の取り組みの進行状況について学べて、興味深かったです。
- ・ 現場の難しさ、目標達成の難しさを知る事ができた。



V. 国際保健活動を支える調査研究の重要性

- ・ 研究の必要性や方法についてわかりやすく学べて、とてもよかったです。
- ・ 初めての知識ばかりで、研究の入門を学べ、研究のイメージが柔らかくなった。

VI. 国際緊急人道支援

- ・ 話のテンポがよく、災害が起きた後段階的に説明していただき、分かりやすく、臨場感があり面白かった
- ・ 東日本の震災のことも考え、講義にとりくめた。とても参考になった。

【ワークショップ】

講師：中田 敬司 氏

緊急人道支援のワークショップでは実際にある国で災害が起きた現場を想定し、5 グループに分かれて、それぞれの現場と指揮官の元、話しあいながら与えられた課題を達成するという大変魅力的な内容でした。

【参加者の感想】

- ・ 実際に災害が起こった設定で、現場にいる主要人物にインタビューを行い、情報を集めるという実践的で、とても面白かったです。
- ・ インタビュー次第で、医療活動を行う場所の選定が違ってくるので、難しかったけど、とても面白かったです。



【SWOT 演習】

講師：仲佐 保 氏、明石 秀親 氏

実際に開発の場で用いられている開発戦略の分析手法 SWOT 分析（Strengths, Weaknesses, Opportunities, Threats）を実際にケースを用いて学ぶ SWOT 演習。合宿の大きな目玉の一つです。今年は 6 人のグループ 4 つに分かれて、各グループに 1 人ずつ合宿班運営委員がファシリテータとしてつきました。其々のグループに個性が見られ、活発な議論の末にできあがった因果関係図は壮観でした。

【参加者の感想】

- ・ グループで一緒に考えることで、新しい考え方、知識を得ることができた。
- ・ SWOT という画期的なプロジェクト立案の手法を学べて本当に貴重な講義だった。



【パネルディスカッション】

講師：青木美由紀 氏・木村和子 氏・長谷川文 氏・平林国彦 氏

「なぜ国際保健なのか？」と題して国際保健の第一線で活躍される職業・所属・経験などバックグラウンド異なる 4 人の講師を招き、国際保健への関わり方、魅力を語っていただきました。小テーマを 3 つ設け、熱い議論が交わされました。

【キャリアラウンド】

国際保健の現場でご活躍されている方をお招きして、これまでのご経験をお話いただき、また小グループに分かれてキャリア相談の座談会の時間を設けました。講師の方々のパワフルで魅力的な人柄に惹き込まれるように参加者からも活発に質問が飛び交いました。

【参加者の感想】

- ・先生と近い距離で話が聞けた。自分の話し・悩みに親身に応えていただき、嬉しかった。
少人数で先生方と意見交換できて、とても楽しく参考になった。
- ・先生達の専門職・役職のバランスがよく、色々な意見がきけて面白かった。



全日程終了後、参加者と運営委員で記念の集合写真
先生方・参加者のみなさんありがとうございました！